

CK-MB				347500	
				担当部署	
CK-MB				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→			
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→			
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		CK-MB 活性の総 CK 活性に対する割合が異常に高い(約 25%以上)場合あるいは臨床症状と合わない場合は、免疫グロブリン結合型 CK 又は CK-BB の存在が疑われる。これらが存在するとき本法では正誤差を生じるため、電気泳動法等でアイソザイム確認を臨床側へ伝える。			
検査受付時間		緊急対応(24 時間)			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			

検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		12U/L 以下 村上麻里子ほか、抗ヒト MtCK 活性阻害抗体を添加した新規 CK-MB 活性測定試薬における急性心筋梗塞のカットオフ値の設定 日本臨床検査医学会 臨床病理 59 巻第 7 号別冊 649-655			
臨床判断値		設定なし			
基準値				単位	IU/L
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0	12	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		血清 CK アイソザイムには CK-MM、CK-MB、CK-BB の主な 3 つのほかミトコンドリア CK(CKm)などがある。 骨格筋には CK-MM が主で、感度の高い方法では CK-MB が存在する事が示される。CK-MB の含まれる割合は白筋よりも赤筋で高い。 心筋も CK-MM と CK-MB からなり、CK-MB の割合は 2-68%である。その他の臓器は CK 活性が比較的低く、その活性の大部分は CK-BB である。 心筋では CK 活性の 13%くらいがミトコンドリア由来の CKm が認められる。 日本臨床第 7 版 368,2009 クレアチンキナーゼ(CK)には、M(muscle)及び B(brain)のサブユニットの組み合わせにより CK-MM、CK-MB 及び CK-BB の 3 つのアイソザイムが知られている。 CK-MM は骨格筋に、CK-BB は脳に、CK-MB は心筋に多く存在する。 この内、CK-MB 活性の測定は、特に急性心筋梗塞の診断上重要な指標となっている。 シグナスオート CK-MB Mto 試薬添付文書			